

ささ ほっこのきまり

自分も周りの人も守るために…

スマホ・ネット・SNS の使い方編

2024 年度改訂 伊丹市立笹原小学校

大切なのは、
顔と顔を合わせた
コミュニケーション



(参考)文部科学省

- ① 携帯、スマホ、タブレット、パソコン、ゲーム等、オンラインで使うものは、家の人とルールを決めてから使うこと。

・「オンラインツール使用权 契約書」を参考にしながら家庭でよく相談してください。



- ④ 人に言葉を送る前に、読み返すこと

・人の心を傷つけるようなこと、相手に面と向かっていえないことを書き込んでいませんか。相手の家の電話にかけたら話せないようなことをやりとりしていませんか。そのやりとりは簡単に取り消すことはできません。

送る前にもう一度、立ち止まって、落ち着いて読み返してみましょう。

- ② 学校には必要ないので、持っていないこと

・けい帯やスマホは学校で使う必要はありません。話したいときは、直接話をしましょう。

- ③ 困ったときには、家の人や先生に相談すること

・SNS でのやり取りの中で、自分たちでは解決しにくいことがあれば、できるだけ早く家の人や先生など大人に相談しましょう。

相談が早ければ間に合い、助かることもたくさんあります。



- ⑤ 自分の将来を考えて正しく使うこと

・一度、SNS やインターネットに流してしまった情報は、取り消しができません。流す内容が、自分や相手の将来まで傷つけてしまうかもしれません。流す前に、一度考えましょう。

※保護者のみなさまへ※

スマホやタブレット、ゲームは便利な道具ですが、使い方を誤れば、さまざまな問題を起こしたり、危険にさらされたり、知らない間に犯罪になったりします。その危険は、子どもたちだけでは解決できないことがたくさんあり、簡単に被害者にも加害者にもなってしまいます。子どもたちを守る手段の一つとして、フィルタリングは必ずかけてください。ただのおもちゃとは違うということ、使い方を誤れば危険があることを、お家でもしっかり話し合ってください。学校でも危険についての指導はしますが、ご家庭でもよろしくお願いします。